

災害対策に関わる建設技術の現状

～ 災害対策技術研究小委員会報告 ～



社団法人 土木学会 建設技術研究委員会
災害対策技術研究小委員会

日時 : 平成21年7月1日(水)
13:00～17:00

場所 : (社) 土木学会 講堂
〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目(外濠公園内)

定員 : 150名

参加費 : 会員 3,000 円

非会員 4,000 円

下記のホームページにて参加を受け付けます。

<http://www.jsce.or.jp/>



「土木学会認定 CPD プログラム」の対象(4.0単位)となっております。

講 師



(仮題)地球温暖化と災害形態の変化
について

中北 英一

京都大学 防災研究所
気象・水象災害研究部門 教授

中越地震における鉄道トンネル
災害復旧事例

清水 満

東日本旅客鉄道株式会社
東京工事事務所 立体交差課



岩手・宮城内陸地震における地盤災害
～火山帯地域での地盤災害について～

風間 基樹

東北大学大学院工学研究科
土木工学専攻 教授

プログラム

- ・ 13 : 00～13 : 10 【開会の挨拶】
柿谷達雄 建設技術研究委員会 委員長
- ・ 13 : 10～13 : 40 【委員会報告】
加藤康司 災害対策技術研究小委員会 委員長
- ・ 13 : 40～14 : 40 【講演 1】(仮題) 地球温暖化と災害形態の変化について
中北英一 京都大学 防災研究所 気象・水象災害研究部門 教授
***** 休 憩 *****
- ・ 14 : 50～15 : 50 【講演 2】岩手・宮城内陸地震における地盤災害－火山帯地域での地盤災害について－
風間基樹 東北大学 大学院工学研究科 土木工学専攻 教授
- ・ 15 : 50～16 : 50 【講演 3】中越地震における鉄道トンネル災害復旧事例
清水 満 東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 立体交差課
- ・ 16 : 50～17 : 00 【閉会の挨拶】

※都合により、プログラム・講師などが変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

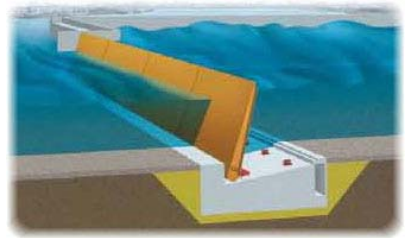
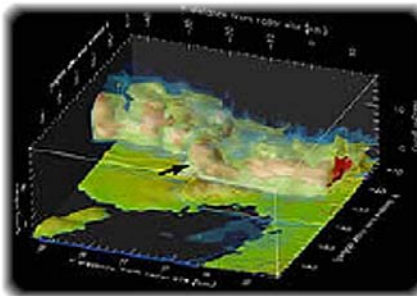
開催主旨

地震・風水害などの自然災害に対してそもそも脆弱である我が国の国土の成り立ちに対し、近年の気象環境の変化や少子高齢化に伴う災害の発生形態の変化に対応した対策技術・復旧技術の整備は急務であると考えます。

災害対策技術研究小委員会では、災害対策技術に関してハード対策を主体とした現状分析と今後の課題を中心に、災害対策に関わる設計思想の変遷および災害対策(復旧)事業の流れを関連法制度とあわせて整理を行いました。

本講習会は、今後遭遇する災害に対する防災・減災のため大きな役割を担う建設技術者に対して、基本情報の習得という意味で参考にしていただければと思いますので、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

災害対策技術



お問合せ先

社団法人 土木学会 研究事業課

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目(外濠公園内) TEL: 03-3355-3559 FAX: 03-5379-0125 E-mail: tomita@jsce.or.jp
イベントに関する最新情報はホームページでご確認ください。 http://www.jsce.or.jp/committee/sekou/sub5/sc5_saigai.htm

土木学会へのアクセス



所在地: 〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目 外濠公園内

四ツ谷駅からのアクセス

JR「四ツ谷」駅の四ツ谷口より徒歩3分

地下鉄南北線「四ツ谷」駅の3番出口より徒歩3分

地下鉄丸の内線「四ツ谷」駅より徒歩5分